

農業ビジネス経営学特論 (2単位)

担当者氏名 八木宏典

◆学習・教育目標

生物資源、生命活動、地域循環、自然との共生等をキーワードとするバイオビジネスの中でも最も重要な位置を占める農業を対象にして、その国際的位置や産業としての特性をふまえ、農産物の生産から加工、流通、販売にいたる農業ビジネスの理論について体系的に理解を深めることを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業経営者	経営戦略	規模と集約度	多角化・複合化	自然との共生
経営管理				

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	農業をめぐる外部環境	農業をめぐる外部環境の基本フレームとこれからの動向。	授業の際に担当者が説明する。
2	農業経営者論	農業経営者の役割や能力に関する研究成果の理論的検討。	
3	経営戦略論	農業に求められる経営戦略理論の評価と検討。	
4	企業形態論	集落営農なども含めた農業の望ましい企業形態のあり方。	
5	規模と集約度論	従来を理論をふまえた新たな規模と集約度の理論。	
6	多角化論・複合化論	複合化論の特徴、加工・直売などを含む多角化の理論。	
7	マーケティング論	マーケティング理論とその農業経営への援用。	
8	ファイナンス論	農業におけるファイナンスの体系、財務管理、会計管理。	
9	農地管理と農地制度論	農地利用と管理、適正規模と利用集積、農地調達と農地所有。	
10	人的資源管理論	農業における人的資源管理論の適用と問題。	
11	知的所有権と社会的責任	農業の発展において重要な知的所有権や社会的責任。	
12	事業連携とネットワークシステム論	顧客満足度を高める農業経営を図るための基礎理論。	
13	環境と循環型システム論	人間と自然との共存を基本原理とする農業の根源的なあり方についての原論的な理解を深める。	
14	国際農業論	農業の国際的な立地と相互の競争関係について理解を深める。	
15	食料・農業・農村の将来	これまでの学習成果をまとめ、21世紀における食料・農業・農村の今後のあり方と将来展望について総括的理解を深める。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

現代日本の農業ビジネス／八木宏典／農林統計協会 (2004)、与件大変動期における農業経営／八木宏典／農林統計協会 (2008)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

農業経営学術用語辞典／日本農業経営学会／農林統計協会 (2007)、新時代農業への視線／八木宏典／農林統計協会 (2006)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業への積極的な参加度で評価する

◆その他受講上の注意事項